

青森県聴覚障害者情報センターの管理運営状況

(平成27年～30年度指定期間評価)

県所管課	健康福祉部障害福祉課
指定管理者	一般社団法人 青森県ろうあ協会 会長 小沢千枝子
指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
手話通訳者、要約筆記者等の養成を行う業務	国のカリキュラムに沿って、手話通訳者、要約筆記者等を養成するための講習会を開催した。
聴覚障害者に対する各種の相談、指導訓練、情報提供等を行う業務	聴覚障害者の生活・職業等各種相談を行うほか、手話講習会等の指導訓練、情報機器の貸出し・施設の開放により情報提供を行った。
施設及び設備等の維持管理に関する業務	法令等に則り、日々又は定期的に清掃及び各種設備の保守管理を行い、適切に施設及び設備等の維持管理を行った。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
利用人数 (人)	H27	6,000	6,472	107.9%	101.0%
	H28	6,000	5,759	96.0%	89.0%
	H29	6,000	5,278	88.0%	91.6%
	H30	5,500	5,386	97.9%	102.0%
	平均	5,875	5,723	97.4%	
	H26(参考)	5,000	6,408	128.1%	98.1%
手話通訳者養成講座の修了者数 (人)	H27	通訳Ⅰ 14	通訳Ⅰ 12	85.7%	100.0%
		通訳Ⅱ 14	通訳Ⅱ 16	114.3%	320.0%
	H28	通訳Ⅰ 14	通訳Ⅰ 7	50.0%	58.3%
		通訳Ⅱ 12	通訳Ⅱ 15	125.0%	93.8%
	H29	通訳Ⅰ 14	通訳Ⅰ 9	64.2%	128.5%
		通訳Ⅱ 12	通訳Ⅱ 3	25.0%	20.0%
		通訳Ⅲ 10	通訳Ⅲ 7	70.0%	—
	H30	通訳Ⅰ 14	通訳Ⅰ 11	78.6%	122.2%
		通訳Ⅱ 12	通訳Ⅱ 6	50.0%	200.0%
		通訳Ⅲ 10	通訳Ⅲ 6	60.0%	85.7%
	平均	通訳Ⅰ 14	通訳Ⅰ 10	69.6%	
		通訳Ⅱ 13	通訳Ⅱ 10	76.9%	
通訳Ⅲ 10		通訳Ⅲ 6	60.0%		
H26(参考)	基本課程 14	基本課程 12	85.7%	109.6%	
	応用課程 10	応用課程 5	50.0%	55.6%	
	実践課程 7	実践課程 6	85.7%	66.7%	

要約筆記者養成講座の修了者数(人)	H27	10	16	160.0%	
	H28	14	15	107.1%	93.7%
	H29	14	2	14.3%	13.3%
	H30	14	4	28.6%	200.0%
	平均	13	9	69.2%	
	H26(参考)	基礎・応用15	基礎・応用18	120.0%	105.9%

【総評】

- ・利用人数：施設のPRに努めたこと等により、見学や手話学習の他一般の施設利用もあり、多くの県民に活用されている。一方で養成講座の拡充により、本来利用人数が多い土・日曜日に貸館できる部屋の不足、他会場を借り上げての講座開催により、結果的に利用者数の計画値を下回っている。それらの利用人数を加味すると、施設使用のニーズは多いと思われる。
- ・意思疎通支援者養成事業：手話通訳者養成講座は平成27年度より使用テキストに合わせた講座名と講座時間数を増加するとともに、講座の募集段階で選考試験を設ける等、専門的な知識と技能を必要とする意思疎通支援者を養成するために工夫して事業を取り組んでいる。また、要約筆記者養成講座は、平成26年度まで要約筆記奉仕員養成カリキュラムであったが、要約筆記者養成カリキュラムに合わせ、講座時間数を増加し開催している。各講座指導者を養成するための指導者研修会を開催する等、今後の意思疎通支援者の養成に携わる指導者の育成と質の向上に努めている。意思疎通支援者は専門的で高度な技術を必要とすることから、修了者数は計画値を下回る年度も見られるものの、質の高い講座となるような工夫が見受けられる。

3 評価結果

評価項目	指定管理者 自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	4	4	サービスの維持・向上に向けた取組みを適切に実施しており、アンケートでも高い評価を受けている。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	4	4	施設及び事業のPRに努め、利用者数も増加している。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	4	4	利用者が快適に利用できるよう、施設・設備・備品の維持管理等が適切に行われており、来館者アンケート結果でも施設の清潔さ等について満足度が高い。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	4	4	緊急時の筆談ボードを各部屋に設置するほか、消防訓練を定期的に行っている。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	3	3	経理状況等に問題はなく、適正に執行している。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか	3	3	施設利用者を増やすため案内の配布や積極的な受入を行い、各種養成講座においては計画的な運営に取り組んでいる。
⑦その他法令等を遵守した管理運営が行われているか	4	4	評価期間全体を通じて法令遵守に努めており、適正に管理運営が行われている。

総合評価	4	4	センターにおける各種事業の実施、聴覚障害者からの相談対応、聴覚障害への普及啓発活動、施設の維持管理等について適正に取り組んでおり、利用者から高評価を得ている。
------	---	---	---

○評価基準

- 5（秀）：業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている
- 4（優）：業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている
- 3（良）：業務水準書等の内容が満たされている
- 2（可）：業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する
- 1（不可）：業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する